在宅医療の実践

生活を支える
在宅医療と在宅ケア

目　的

- 在宅医療・在宅ケアを開始するポイントが理解できる
- 患者・家族の生活や考えを知る重要性が理解できる
- 家族を評価するポイントを理解できる

事　例

- 85歳　女性
- あなたのクリニックに高血圧で長年通院している
- ここ1-2年間は、不眠とうつ状態を訴え、日常生活動作（ADL）が少しずつ低下したため、家族が付き添って通院していた
- 自宅内の生活は自立しているが、最近は通院が負担になり、家族が時々薬を取りに来て、生活の様子を伝えている

事　例

- 皆さんは、この事例で訪問診療などの在宅医療や在宅ケアを検討しますか？

隣同士で話し合ってみましょう！

在宅医療・在宅ケアを始めるポイント

- 一般に外来に通院している患者さんに、いつ在宅医療・在宅ケアを始めるのが良いでしょうか？

グループで話し合ってみましょう！

切れ目のない医療・ケア

- 「病気の軌跡」を意識して患者を診る
  - 「病気の軌跡」のイメージでどの病状にいるのか？
- 保健医療福祉との繋がりに切れ目を作らないようにする
- 「病気の軌跡」を患者本人や家族への病状説明、今後の見通しの説明に活用する

多職種で提供する医療・ケア

- 在宅医療・在宅ケアは「切れ目のない医療・ケア」を実践するための手段
  - 生活の場で医療・看護・介護を実践する
  - 在宅での療養環境を整えてこそ、継続した療養が可能となる
- 在宅医療・在宅ケアの担い手として多職種チーム（保健医療福祉のさまざまな専門職から構成されるチーム）が期待されている

事例　つづき

- 85歳　女性
- あなたのクリニックに長年通院している患者さんに家族を通して、在宅医療について意向を聞いた
- 患者さんは「家族に迷惑をかけてまで通院したくない」とのことで「往診」を希望した
- あなたは「訪問診療」と「訪問看護」を提案した

訪問診療や訪問看護を始めるとき

- 「往診」と「訪問診療」の違い
- 「訪問診療」と「外来診療」の違い
- 「訪問看護」と「外来看護」の違い
- 「訪問診療」や「訪問看護」を断る患者や家族の気持ち

グループで話し合ってみましょう！

事例　つづき

- 訪問診療・訪問看護を始めるにあたってあなたは患者さん本人、家族と面談をすることになった
  - どのようなことを聞きたいですか？
  - どのようなことを説明しますか？

各職種の立場でどんなことを聞くか、グループで話し合ってみましょう！

家族を知る

- 現在の状況を家族がどのように考えているか
  - 病気のこと
  - 生活のこと
  - 家族自身のこと
- 医療者が聞きたいことから聞かなくても良い
  - 患者や家族が話しやすいことから

家族を知る

- 家族構成
- これまでと現在の患者と家族の関わり
- 家族の仕事、収入状況
- 患者が一番頼りにしているご家族は誰か？
- 患者と家族の関わりで上手くいっていること、困っていること

事例　つづき

- 85歳　女性
- あなたのクリニックに高血圧で長年通院していたが、通院が困難になり訪問診療、訪問看護を開始した。
- ケアマネジャーとも相談し
  - 訪問診療1回/2週
  - 訪問看護1回/週
  - デイサービス2回/週

  を開始することになった。

まとめ

- 「病気の軌跡」を支えるためには切れ目のない医療・ケアの提供が必要
  - 多職種チームによる在宅医療・在宅ケアの提供
- 訪問診療・訪問看護を始める時に必要なこと
  - 生活を意識した治療・ケアの目標設定
  - 通院、入院とは異なる視点を持つこと
- 家族を知ることの大切さ
  - 家族も在宅医療・在宅ケアの対象者